



資料4-3



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses



鯖江市地域活性化プランコンテスト

総務省・経済産業省・内閣府・日本政策投資銀行 後援

コンテストについて



全国の学生に参加者を募り、選考を通過した24名(3人1チーム×8チーム)の学生が鯖江に集い2泊3日の合宿を行います。市長の講義や市内各地の聞き込み調査を行いながら、鯖江を良くするためのプランを考え、合宿最終日には、市長、商工会議所会頭、企業、市民の方の前でプレゼンテーションを行い最優秀チームを決めます。(毎年9月に開催)
※2017年9月9日-11日に第10回開催。



全国から集う学生達



■大学別

京都大学	52名
東京大学	49名
慶応義塾大学	37名
早稲田大学	30名

交通費一切出してません

一橋大学/九州大学/北海道大学/佐賀大学/東北大学
法政大学/東京外国語大学/明治大学/立命館大学/筑波大学
横浜国立大学/静岡大学/埼玉大学/滋賀大学/名古屋大学
中央大学/関西大学/電気通信大学/立教大学/立命館大学
上智大学/立命館アジア太平洋大学/福井大学/福井県立大学
東京理科大学/デジタルハリウッド大学/日本大学/同志社大学
奈良先端科学技術大学院大学/富山高等専門学校

※第10回までで237名が参加

地元学生スタッフが主体的に



地元学生に刺激を与え、意識改革、そしてスキルアップを促し自ら行動するきっかけを与える。



2011年1月に学生団体with 設立。主体的に自分達が地域活動。
【活動理念】人と人とをつなぐ、つながる

現在では、地域の人に頼られる存在に



学生団体
with

【メンバー】 2018年1月現在
計 23名

福井県立大学生	6名
福井大学	7名
福井工業大学	2名
仁愛大学生	1名
福井高専生	2名
東北大学 他	5名
(現在社会人のOB/OG 計98名)	



全国の学生、そして地元学生が 活躍できる「場」創り ～若者の地域活動への参加促進～



地域再生大賞 優秀賞



10周年の記念の年に 初の賞

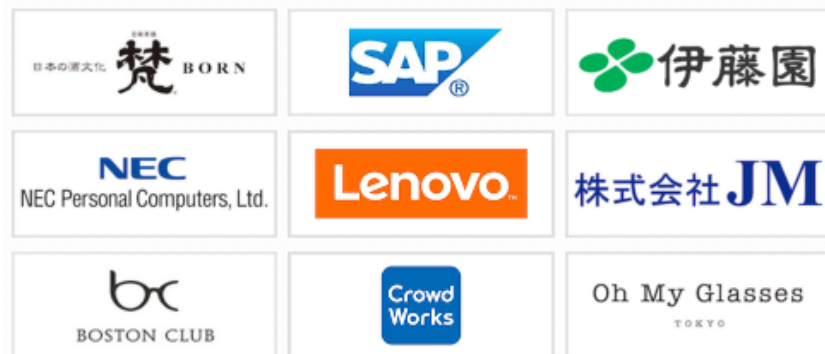


行政に頼るのではなく、共に！



プランコンテストに
企業を巻き込んでいたら

協賛





Hana Open Innovation Dojo in SABAE



SAPが、本拠地ドイツ、シリコンバレーに
次いで、世界で3番目に開設を支援した
イノベーションのためのファブラボ



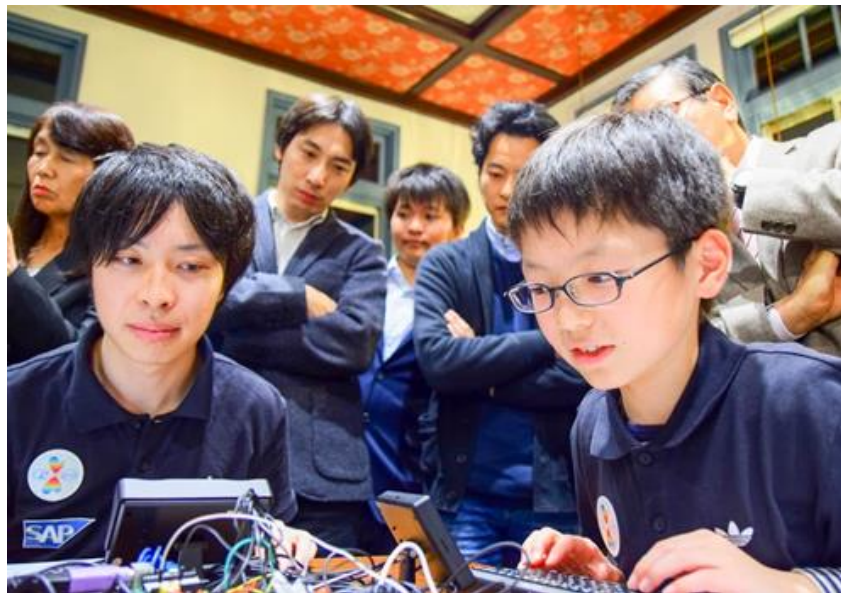
ドイツ、シリコンバレー、**鯖江**



- ◆ユース層へプログラミング教育を行い、“ITのまち”の担い手をつくる。(IchigoJam)
- ◆鯖江の伝統産業(眼鏡・漆器・繊維)の新たなイノベーションが起こる「場」づくり。
- ◆街中の賑わい創出。

市内外の様々な人たちが集い
共に‘創る’ことで新産業が生まれ
それを支える人財が育成される場を目指す

様々な世代が集まりものづくりを楽しむ場



機会の創出



3Dモデル作成講座



電子工作



パソコン相談室



編み物



ものづくり女子道場

hana 道場 × 福井新聞社



お花のアクセサリ作り



カフェトレイ作り



小学生向けにプログラミング教室

鯖江・NPO法人

週1回、100人受講目標

「Tのまち担う子育て」

[illegible]

來館15萬人



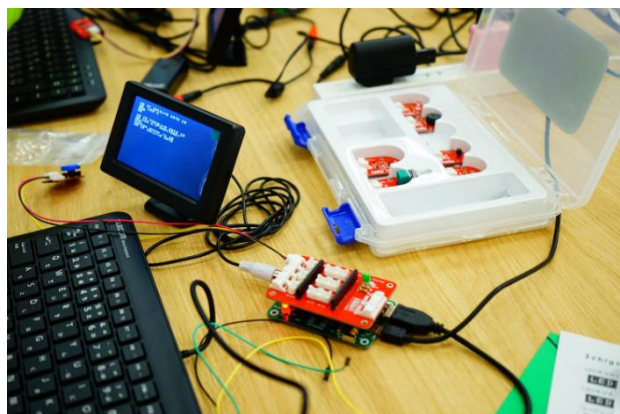
大勢の観光客が訪
ン当日ー2014年11

[illegible]



こども IoT ハッカソン

センサーとモーターで
お父さんお母さんを助けよう！



全国各地で開催中

出張Hana道場：東京、仙台、鎌倉、三重

プログラミングで身近な課題解決！



お母さんてどんな人？

何があったらイライラ
しなくなるかな？

何にイライラしてるの？



プログラミングの可能性を知る！



モチベーション アップします

お掃除ロボットや、
ゴキブリをセンサーで感知して
叩き潰すの作っちゃいました。

2018年1月から開始



プログラミングが必修化される前に、
身近で楽しくITやIoT分野の領域を知ってもらい、
こどもたちにITを学ぶ意義を体感してもらう

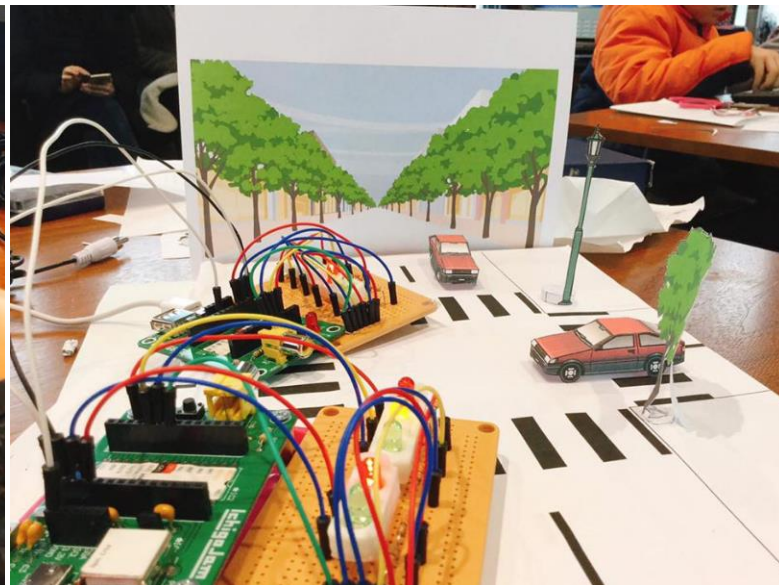
身近なプログラミングを知る



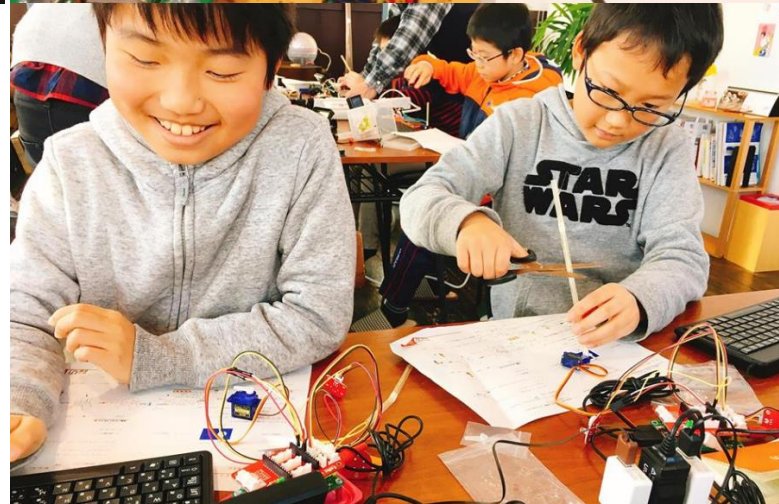
「世界はプログラミングでできている」を子ども達が体感



信号機プログラム



サーボモーターと
センサーを使って
踏切作り



きっかけ作りを全国で開催



：こどもIoTハッカソン



：出張Hana道場



運営側も試行錯誤。トライ＆エラー



高校生によるUnity講座



子ども達を観察して、
子ども達に必要なだと思う事
子ども達が楽しむことを
企画している。

サポーターが増えています



シニア講師育成講座も開始



鯖江市のNPO法人「エル・コミュニティ」は25日、シニア向けのプログラミング講座を鯖江市旭町1丁目のHana道場で開く。小学校でプログラミング教育が必修化される2020年度を見据え、授業をサポートできる人材の育成を図るのが狙い。今後定期開催し、IT教育環境の充実に貢献したい考えだ。（桑野真吾）

**プログラミング
シニア講師を**



Hana道場で開かれている子ども向けのプログラミング教室。7月22日、鯖江市旭町1丁目

小学必修見据え育成講座

鯖江のNPO 25日皮切り 定期開催へ

市内では既に小学6校、中学校がクラブ活動としてプログラミング教育を取り入れているが、多くの学校が外部団体を講師に招いているのが現状。市教委は来年度、市内全小中学校に導入を予定しており、教員向けに研修を行うとともに、さらなる外部支援者による育成するが課題となっている。

Hana道場を拠点に子ども向けのプログラミング教室を開いている同NPOは、今回新たに大人向けの講座を企画。小中学校の授業が行われる時間帯に対応できるシニア層をメインの対象に据え、20年度に向けたクラブ活動や授業をサポートする人材を育成する。動ももたれているものの、IT関連業務をリタイアした人からプログラミング初心者までだれでも参加でき、教員も参加可能だ。

講師はソフトウェア開発のi.s.j.p（鯖江）が現任。市教委は来年度、市内全小中学校に導入を予定しており、教員向けに研修を行うとともに、さらなる外部支援者による育成するが課題となっている。

Hana道場を拠点に子ども向けのプログラミング教室を開いている同NPOは、今回新たに大人向けの講座を企画。小中学校の授業が行われる時間帯に対応できるシニア層をメインの対象に据え、20年度に向けたクラブ活動や授業をサポートする人材を育成する。動ももたれているものの、IT関連業務をリタイアした人からプログラミング初心者までだれでも参加でき、教員も参加可能だ。

講師はソフトウェア開発のi.s.j.p（鯖江）が現任。市教委は来年度、市内全小中学校に導入を予定しており、教員向けに研修を行うとともに、さらなる外部支援者による育成するが課題となっている。

2017年8月25日よりシニア向け 開始

2020年、プログラミングは小学校で必修化されますが、鯖江は今年4月から全小中学校でプログラミングクラブ開始。（現在は7校）

講師不足解消のためシニア向けを実施中。

IT人材について、経産省が昨年発表した調査結果は、2030年に最大約79万人が不足するとされている。同NPOの代表は「人材が多く育てない」と指摘し、市教委は来年度、市内全小中学校に導入を予定しており、教員向けに研修を行うとともに、さらなる外部支援者による育成するが課題となっている。

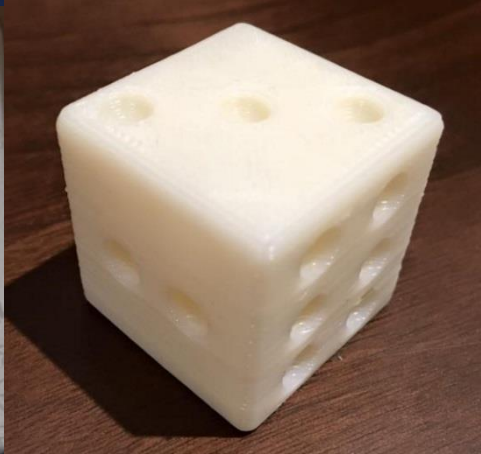
Hana道場を拠点に子ども向けのプログラミング教室を開いている同NPOは、今回新たに大人向けの講座を企画。小中学校の授業が行われる時間帯に対応できるシニア層をメインの対象に据え、20年度に向けたクラブ活動や授業をサポートする人材を育成する。動ももたれているものの、IT関連業務をリタイアした人からプログラミング初心者までだれでも参加でき、教員も参加可能だ。

講師はソフトウェア開発のi.s.j.p（鯖江）が現任。市教委は来年度、市内全小中学校に導入を予定しており、教員向けに研修を行うとともに、さらなる外部支援者による育成するが課題となっている。

レーザーカッター等で新たなものづくり



失敗から学んでほしい。という思いから、20歳未満は全ての機器使用無料



とりあえずやってみる。機会の提供



Hana道場は遊び「場」



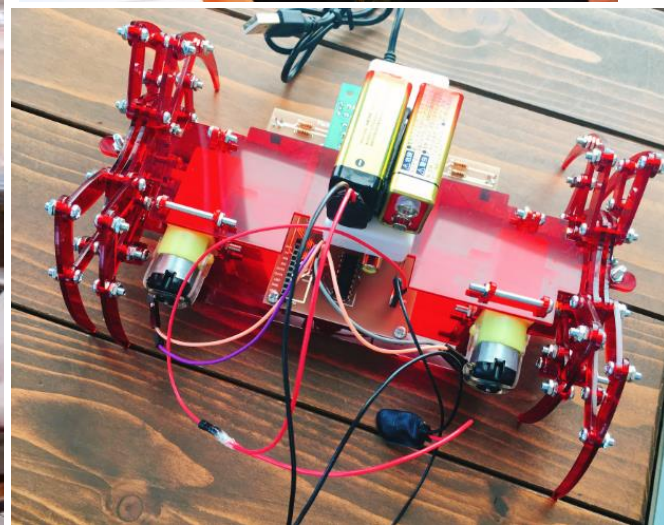
やってみないと何に興味を示すか分からない

Hana道場という遊び場を創っていたら



中高生がロボット開発

基板設計もデザインもプログラムも全部自前、オールHana道場産



教室ではなくて「道場」



先生がいて生徒がいる「教室」は、

先生は教える人で生徒は教わる人。と一方通行。

Hana道場は、子どもも大人もさまざまなスキルや多様な発想を持ち合わせていて、それぞれが先生であり生徒です。



東京に行かないと体験できない、
経験できない。を鯖江でもできる！に。



オープンイノベーションの場



地元企業、大手企業を巻き込むことによって、
叡智・アイデアが集まるオープンイノベーションの場を作る。

YAHOO! きっす
JAPAN



NEC

NEC Solution Innovators, Ltd.

日本の酒文化
登録商標

梵
BORN



KISSO



BOSTON CLUB



まちと人のくらしをつなぐ

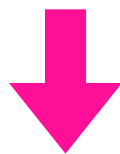
京福バス



外から獲得！知恵とお金！



鯖江



学生団体
with



hana 道場



こどもIoTハッカソン



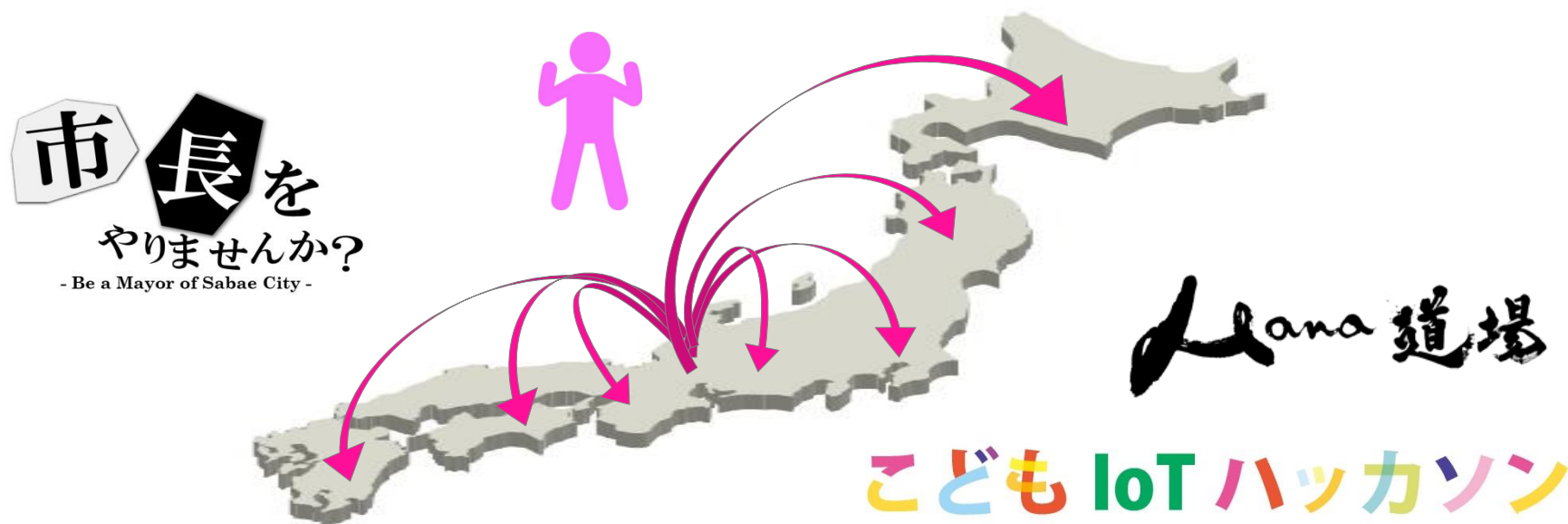
市長を
やりませんか？
- Be a Mayor of Sabae City -

地方創生モデル 全国展開に向けて



『現場の実践者が知の最先端』

「稼ぐまちが地方を変える」(著: 木下 齊)より



地方創生を目指すならば、実践者(民)自らが実践した事を体系化し、実証した事、プロセスを他地域へ伝えていく、スケールさせる必要があります。

そのためには企業の支援が必要です。

企業を巻き込むだけの地に足ついたモデルを創り、地域展開をしていきます！

「鯖江モデル」を他地域にも展開し、各地域が自立的に動けるようサポート

地域 × 企業

運営主体：NPO法人エル・コミュニティ



地域の活性化のため、分野にとらわれることなく若者の活動を支援する団体として、若者の意見を尊重し地域社会に反映させるための仕組みづくりとその促進を目的としています。そして特定の地域にとらわれることなく、多様な人材と学びあえる場を創出し、ひいては新たな地域ブランドを創出させる活動となることを目指します。

<事業内容>

- 若者が提案する地域活性化のための企画の支援事業
- 地域力向上を目的とした地域ブランドの創出支援事業
- 若者を対象とした地域活動への参加促進事業

【理事長】

竹部美樹（鯖江市地域活性化プランコンテスト コーディネーター）

【副理事長】

矢島里佳（株式会社和える代表取締役）

【理事】

勝屋久（Team♡KATSUYA LOVEコネクター／画家）

本荘修二（本荘事務所代表）

福野泰介（株式会社jig.jp代表取締役）

森本登志男（元佐賀県 最高情報統括監）

【監事】

掃部哲雄（株式会社特機サービス代表取締役）



<問合せ先>

l.community.2012@gmail.com